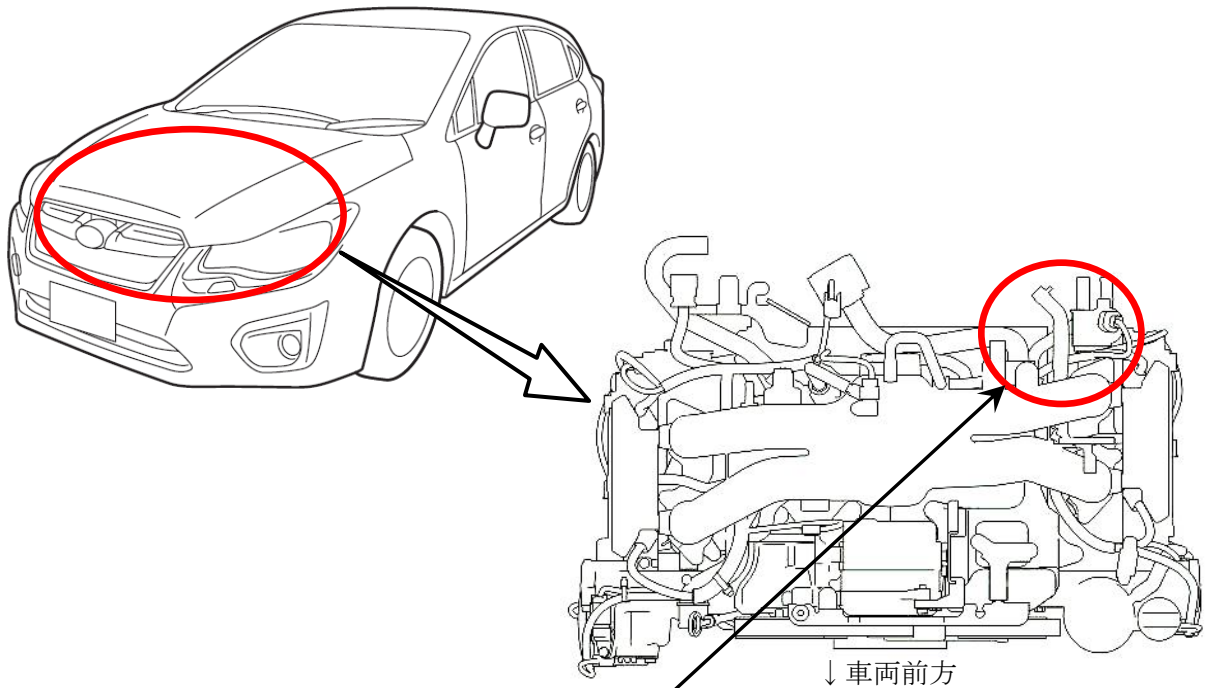


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

エンジンハーネスの配線が不適切な状態で組み付けられたため、使用過程でハーネスの一部が吸気マニホールドの取付ボルトに押し付けられるものがある。そのため、ハーネスが損傷し、そのまま使用を続けると、アイドリング不良、警告灯点灯などが発生し、最悪の場合エンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該エンジンハーネスを点検し、配線が不適切であった場合は、適切な配線に修正する。また、当該エンジンハーネスのハーネステープ表面に擦れがある場合には、テープを巻き直し、芯線に損傷がある場合には、エンジンハーネスを新品に交換する。

識別

エンジンハーネス集中カプラー上部に白色ペイントを塗布する。

注: は、点検を行い、必要に応じて修正、交換する部品を示す。

